



## 2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 M I Tホールディングス株式会社  
コード番号 4016 URL <https://mit-hd.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 典久  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営推進センター長 (氏名) 三方 英治 TEL 043-239-7252  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第2四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	2,540	10.7	109	622.2	101	340.0	61	—
2023年11月期第2四半期	2,294	7.6	15	△71.3	23	△53.6	1	△94.7

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 62百万円 (—%) 2023年11月期第2四半期 2百万円 (△90.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	31.22	30.49
2023年11月期第2四半期	0.84	0.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	2,486	598	24.1
2023年11月期	2,274	551	24.3

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 598百万円 2023年11月期 551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,260	9.9	200	137.6	186	96.3	99	108.3	50.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期2Q	2,110,600株	2023年11月期	2,109,400株
② 期末自己株式数	2024年11月期2Q	130,050株	2023年11月期	130,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期2Q	1,979,893株	2023年11月期2Q	1,979,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年12月1日から2024年5月31日)におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の復調や雇用・所得環境の改善など、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、世界的な地政学リスクの長期化に伴う資源価格の高騰及び円安進行による物価高騰や金融政策の変動等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、引き続き、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みが加速しており、あらゆる産業において、企業の競争力強化のためのIT投資意欲は拡大していくことが見込まれております。

このような環境の下、当社グループは、2022年12月にスタートした中期経営計画(2023年11月期~2025年11月期)の2期目として、重点施策である①人材の確保と育成、②自社プロダクトソリューションサービスの拡大を中心に取り組み、システムインテグレーションサービスにおいては、引き続き堅調な受注が見込まれる「公共」「金融」「エネルギー」分野のニーズを背景に、人材の確保、キャリア採用、高度技術者の育成を推進するとともに、パートナー企業との連携強化及びグループ企業による共同提案、共同開発などのシナジー効果を高め、高付加価値ビジネスへの変革を推進しております。DXソリューションサービスにおいては、当社グループの自社プロダクトである「Wisebook」及び「DynaCAD」の高利益率ビジネスへの選択と集中を強化しております。新たに基本利用料0円から始められるデジタルブック配信サービス『TrendTap powered by Wisebook』を開始、Wisebookと連携し新規顧客開拓におけるマーケティング活動をサポートする『MA Tree』をリリース、また、次世代デジタル教育ソリューション『Wisebook EdTech』においては、書き込みなどの同期機能、学習経験データの蓄積・運用、ECセールスプラットフォームやすべてのOSで利用できるアプリなど充実した追加機能を提供し、教育機関向けテキスト教材出版社との協業にも取り組み、更なる受注拡大と収益力向上を目指しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、システムインテグレーションサービス、DXソリューションサービスともに受注が順調に拡大したことにより売上高は2,540,545千円(前年同期比10.7%増)となりました。DXソリューションサービスの増収効果により連結粗利率は1.3ポイント向上の23.5%となり、売上総利益は596,919千円(同17.2%増)、営業利益は109,663千円(同62.2%増)となり、経常利益は101,965千円(同340.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は61,815千円(前年同期は1,652千円)となりました。

なお、当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントではありますが、主要サービス別の経営成績を以下に示します。

#### (システムインテグレーションサービス)

システムインテグレーションサービスは、公共・通信・金融・エネルギー・運輸物流等の分野を中心に、社会インフラ系の基幹システム開発及びネットワーク基盤構築の受注を柱としており、安定した受注の確保を実現しています。当第2四半期連結累計期間は、主要顧客からの受注が堅調に推移し、新規顧客開拓による受注案件の拡大と、それに伴う要員の確保、受注単価アップや高利益率案件等へのシフトが好調に推移したことにより、売上高は2,208,648千円(前年同期比10.3%増)となりました。

#### (DXソリューションサービス)

DXソリューションサービスは、デジタルマーケティング、図面DXソリューション、クラウドソリューションの各種サービスを行っております。当第2四半期連結累計期間は、自社プロダクトである「Wisebook」及び「DynaCAD」の高利益率ビジネスへの選択と集中を強化し、受注・納品が順調に推移したことにより、売上高は331,896千円(前年同期比13.7%増)となりました。

各ソリューション別の状況は以下のとおりであります。

##### a. デジタルマーケティング

デジタルマーケティングは、デジタルブックの制作・配信並びに、紙媒体の電子化サービス、電子書籍化サービス、社内文書管理サービス、教育現場での電子教科書への対応及び、閲覧データ解析によるマーケティングツールとしても活用できる「Wisebook」のサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間は、新たに『TrendTap powered by Wisebook』、『MA Tree』のサービスを開始、また、『Wisebook EdTech』の機能追加と教育機関向けテキスト教材出版社との協業に取り組むとともに、Wisebookバージョンアップ案件の受注が順調に推移したことにより、売上高は117,396千円(前年同期比45.5%増)となりました。

##### b. 図面DXソリューションサービス

図面DXソリューションは、CADソリューション(高機能で幅広い互換性を持つ2次元汎用CADである

「DynaCAD」シリーズの開発・販売や自治体の電子化に伴うコンサルティング、紙図面の電子化サービス)、ドローンソリューション (ドローン操縦技術者講習サービス)、大規模修繕工事に伴う足場の仮設計画図・外壁下地調査図などのCAD製図サービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間は、CAD製図サービスが牽引して売上高が拡大したことに加え、DynaCAD製品の保守契約による売上及び紙図面の電子化サービスの売上が堅調に拡大したことにより、売上高は178,799千円 (前年同期比18.3%増) となりました。

c. クラウドソリューション

クラウドソリューションは、認証ソリューション (3D顔認証を始めとした生体認証機器の販売及び入退管理システム、勤怠管理システム、食事予約システムとの連携などによる総合クラウド認証サービス) 及び、中小規模事業者向けシステムソリューション、自社クラウドサービスを利用したシステムサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間は、自社プロダクトへの選択と集中のため営業規模を縮小、「The Meal」「自治体申請ナビ」「駐輪場管理システム」などのクラウドサービスを中心とした事業を展開したことにより、売上高は35,700千円 (前年同期比40.7%減) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,486,818千円となり、前連結会計年度末と比べて212,524千円の増加となりました。流動資産は1,869,003千円となり、前連結会計年度末と比べて235,934千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加215,541千円及び、受取手形、売掛金及び契約資産の増加26,601千円によるものであります。固定資産は607,479千円となり、前連結会計年度末と比べて25,248千円の減少となりました。これは主に無形固定資産の減少14,929千円及び、投資その他の資産の減少5,978千円によるものであります。

流動負債は962,109千円となり、前連結会計年度末と比べて4,371千円の増加となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加25,603千円、1年内償還予定の社債の増加60,000千円、賞与引当金の増加73,592千円、その他の増加35,836千円、短期借入金の減少100,000千円及び、未払費用の減少89,318千円によるものであります。固定負債は926,497千円となり、前連結会計年度末と比べて161,756千円の増加となりました。これは長期借入金の増加27,686千円、社債の増加135,000千円によるものであります。

純資産は598,211千円となり、前連結会計年度末と比べて46,396千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益61,815千円の計上及び、配当金の支払いによる利益剰余金の減少15,835千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物 (以下、「資金」という。) は、前連結会計年度末に比べ215,241千円増加し、979,721千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は128,608千円 (前年同期は216,223千円の獲得) となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上額101,965千円、減価償却費の計上額43,573千円及び、賞与引当金の計上額73,592千円による資金増加と、売上債権の増加額26,601千円及び、法人税等の支払額41,784千円の資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は42,583千円 (前年同期は108,459千円の使用) となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出38,576千円の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は129,216千円 (前年同期は147,756千円の獲得) となりました。これは主に、社債の発行による収入296,625千円の資金増加と、長期借入金の返済による支出46,711千円、社債の償還による支出105,000千円及び、配当金の支払いによる15,902千円の資金減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年1月12日付の「2023年11月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	766,979	982,521
受取手形、売掛金及び契約資産	818,608	845,210
商品	6,211	5,294
その他	42,304	36,417
貸倒引当金	△1,036	△439
流動資産合計	1,633,068	1,869,003
固定資産		
有形固定資産	78,785	74,444
無形固定資産		
ソフトウェア	86,706	98,612
ソフトウェア仮勘定	131,073	119,831
のれん	62,894	55,691
顧客関連資産	103,481	95,091
無形固定資産合計	384,156	369,227
投資その他の資産	169,786	163,807
固定資産合計	632,728	607,479
繰延資産	8,497	10,335
資産合計	2,274,294	2,486,818
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205,308	212,219
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	94,035	119,638
1年内償還予定の社債	210,000	270,000
未払費用	156,060	66,741
未払法人税等	42,149	33,896
賞与引当金	—	73,592
その他	150,184	186,021
流動負債合計	957,738	962,109
固定負債		
社債	465,000	600,000
長期借入金	289,991	317,677
繰延税金負債	9,749	8,820
固定負債合計	764,740	926,497
負債合計	1,722,479	1,888,607
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	291,450	291,570
資本剰余金	106,330	106,450
利益剰余金	240,109	286,089
自己株式	△92,450	△92,485
株主資本合計	545,439	591,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,375	6,586
その他の包括利益累計額合計	6,375	6,586
純資産合計	551,815	598,211
負債純資産合計	2,274,294	2,486,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,294,519	2,540,545
売上原価	1,785,318	1,943,625
売上総利益	509,201	596,919
販売費及び一般管理費	494,017	487,256
営業利益	15,184	109,663
営業外収益		
受取利息	33	13
受取配当金	72	—
解約返戻金	5,554	26
助成金収入	612	1,971
受取保険金	5,710	—
その他	984	661
営業外収益合計	12,966	2,673
営業外費用		
支払利息	3,344	4,390
社債発行費償却	1,518	1,536
支払手数料	114	4,443
営業外費用合計	4,978	10,370
経常利益	23,172	101,965
税金等調整前四半期純利益	23,172	101,965
法人税、住民税及び事業税	31,485	33,337
法人税等調整額	△9,965	6,812
法人税等合計	21,519	40,150
四半期純利益	1,652	61,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,652	61,815

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	1,652	61,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,194	211
その他の包括利益合計	1,194	211
四半期包括利益	2,846	62,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,846	62,026
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23,172	101,965
減価償却費	52,775	43,573
のれん償却額	12,147	15,592
社債発行費償却	1,518	1,536
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△95	△596
賞与引当金の増減額 (△は減少)	78,080	73,592
受取利息及び受取配当金	△105	△13
支払利息	2,454	3,249
受取保険金	△5,710	—
社債利息	890	1,141
売上債権の増減額 (△は増加)	75,335	△26,601
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,573	△8,080
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,426	956
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,753	6,910
その他	35,256	△42,549
小計	273,328	170,677
利息及び配当金の受取額	104	13
利息の支払額	△3,494	△4,362
保険金の受取額	5,710	—
法人税等の支払額	△62,852	△41,784
法人税等の還付額	3,427	4,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,223	128,608
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期貸付けによる支出	—	△300
短期貸付金の回収による収入	69	414
有形固定資産の取得による支出	△6,363	△1,320
無形固定資産の取得による支出	△64,933	△38,576
連結範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	△68,629	—
その他投資活動による支出	△234	△3,003
その他投資活動による収入	31,631	202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,459	△42,583
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△35,520	△46,711
社債の発行による収入	197,081	296,625
社債の償還による支出	△100,000	△105,000
配当金の支払額	△13,804	△15,902
新株式申込証拠金の払込による収入	—	240
自己株式の取得による支出	—	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	147,756	129,216
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	255,519	215,241
現金及び現金同等物の期首残高	513,748	764,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	769,268	979,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。